

# (社)北海道臨床工学技士会ニュース

NO. 66

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>事務局 [takao.murohashi@nifty.ne.jp](mailto:takao.murohashi@nifty.ne.jp)

発行人：真下 泰

〒004-8618

札幌市厚別区厚別中央2条6丁目

札幌社会保険総合病院 ME部

TEL 011-893-3000

FAX 011-893-4001

## アフレス技術講習会 & 市民公開講座

下記日程でアフレス技術講習会及び市民公開講座が開催されます。アフレス講習会はアフレス技術認定士試験を受験する際に必要となります。講習会参加者には受講証明書を発行致します。(事前受付とします。インターネット・FAXでの受付となっております。(なお当日の受付も可能ですが、受講証明書の発行に時間と送料がかかります。))

**開催日** 平成17年10月30日(日)午前9:00～

**場所** 札幌コンベンションセンター 104+105会議室  
(<http://www.sora-scc.jp>)

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

### アフレス技術講習会 (参加費 会員 ¥1,000 学生 ¥500)

司会 佐々木 雅敏 (NTT 札幌病院)

9:00～10:00 教育講演

「末梢血幹細胞による血管再生治療」

講師 特定医療法人 北榆会 札幌北榆病院 外科部長 堀江 卓 先生

10:00～10:30 技術講演 1

「体外循環療法を用いた関節リウマチ治療」

講師 旭化成メディカル(株) 機能商品事業部 国内営業部 東日本営業所 学術担当  
平田 憲子 先生

10:30～11:00 技術講演 2

「皮膚灌流圧(SSP)によるASOの診断とLDLアフレスによる治療効果について」

講師 (株)カネカメディックス 営業部・マーケティング室・学術グループ  
垣田 春樹 先生

11:00～11:30 技術講演 3

「PMXの臨床効果と新しい課題」(仮題)

講師 東レ・メディカル(株) トレミキシン事業部門 企画学術室  
増子 早苗 先生

11:30～11:50 技術講演 4

「二重濾過血漿交換療法(DFサーモ)」(仮題)

講師 クラレメディカル(株) 学術・マーケティング部 宮原 忠司 先生

11:50～12:10 技術講演 5

「遠心分離式を用いた白血球除去療法(CCS)」

講師 ヘモネティクスジャパン(株) 井田 卓見 先生

### 市民公開講座 13:00～14:00 (参加費 無料)

座長 高橋 秀一 (NTT 札幌病院)

「知床世界自然遺産 ～自然と人との共生～」

(財)知床財団 研修・公園管理係主任 亀山 明子 先生

講演内容：知床の自然の魅力や遺産登録までの経緯のほか、自然と人との共生についての現状や課題について紹介していただきます。

## 技士会メーリングリスト運用開始！皆様ご参加下さい

(社)北海道臨床工学技士会の情報網拡充のためメーリングリストの運用を開始しておりますので是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

現在、技士会ニュース以外に情報を伝達する手段がなく、緊急連絡事項が発生した場合は電話などを利用し、出来る範囲で情報伝達作業を行っていましたがこの方法では限界があります。今後はこのメーリングリストを充実させて技士会の重要な連絡網として活用していきたいと思っております。目標は全会員登録です。

(社)北海道臨床工学技士会ホームページから簡単に登録が可能です。運用上のお願いですが登録後、メールアドレスの変更、施設名・所属・お名前が変わった際には速やかにホームページのメーリングリスト登録・修正画面から修正登録して下さい。届かないメールアドレスが増えると管理が大変になりますのでどうかよろしくお願い致します。

## 第16回(社)北海道臨床工学技士会学術大会終了

去る平成17年10月2日(日)、札幌コンベンションセンターにおきまして、第16回(社)北海道臨床工学技士会学術大会が開催されました。発表演題数は過去最多であった昨年をさらに上回り47演題となりました。特別講演におきましては、「胸部大動脈瘤手術と臓器保護」と題しまして、NTT東日本札幌病院心臓血管外科顧問である安田慶秀先生に、さらにランチョンセミナーでは「エリスロポエチン最近の話題 エリスロポエチンは臓器保護・臓器再生に応用可能か?」ということで中外製薬株式会社育薬研究部 主席研究員の樋口正人先生に、「透析アミロイドーシスの予防・治療・対策～臨床工学技士の役割～」と題しまして社団五仁会 元町HDクリニックの坂口剛至先生に貴重な講演をしていただきました。諸先生方にはこの場をお借りして篤く御礼申し上げます。また今回、休日にもかかわらず機器展示ということでご協力頂いた10社、及びドリンクコーナーに協賛頂きました味の素ファルマ(株)の方々にも心より御礼申し上げます。

なお今回の学術大会で発表された方は、原稿を会誌16号に掲載いたしますので、この後の投稿規定をよく読み、**発表原稿を11月4日(金)までに提出**してください。今大会の内容は以下の通りです。

### 特別講演

『胸部大動脈瘤手術と臓器保護』

NTT東日本札幌病院 心臓血管外科顧問 安田 慶秀 先生

### ランチョンセミナー (共催：中外製薬株式会社)

『エリスロポエチン最近の話題 エリスロポエチンは臓器保護・臓器再生に応用可能か?』

中外製薬株式会社 育薬研究部 主席研究員 樋口 正人 先生

### ランチョンセミナー (共催：カネカメディックス)

『透析アミロイドーシスの予防・治療・対策～臨床工学技士の役割～』

社団五仁会 元町HDクリニック 坂口 剛至 先生

## 一般演題

- O-1 APS-15S と APS-15SA は何が違うか  
釧路泌尿器科クリニック 小半 恭央
- O-2 APS-25SA の性能評価  
JA 北海道厚生連 倶知安厚生病院 笠島 良
- O-3 誤刺事故防止機能付透析針についての比較検討  
NTT 東日本札幌病院 臨床工学室 棚田 智之
- O-4 血液回路のより良い形の検討～ワンタッチクランプについて～  
JA 北海道厚生連 札幌厚生病院 臨床工学技術部門 石川 俊行
- O-5 静脈圧下限アラームは抜針事故のアラームに成り得るか？  
旭川赤十字病院 救急部 臨床工学課 脇田 邦彦
- O-6 安全な低血液流量透析を目的とした血液回路の考案  
NTT 東日本札幌病院 臨床工学室 寒河江 磨
- O-7 大型膜における生食置換の検討  
JA 北海道厚生連 札幌厚生病院 森久保 忍
- O-8 JMS 社製ターボ血液ポンプ Mixflow の長期使用経験  
市立札幌病院 臨床工学科 奥田 正穂
- O-9 先天性心疾患における MICS 症例の検討  
手稲溪仁会病院 臨床工学部 千葉 二三夫
- O-10 劇症型心筋炎に補助循環を施行し救命した 1 例  
独立行政法人 国立病院機構 帯広病院 臨床工学技士 松本 年史
- O-11 attenuation の強い IVUS 像を呈した病変を確認し治療方針に変化を与えた 1 例  
手稲溪仁会病院 臨床工学部 根本 貴史
- O-12 心臓カテーテル検査室業務の現状  
市立旭川病院 臨床器材科 臨床工学室 澤崎 史明
- O-13 ペースメーカ業務における臨床工学技士の役割（現状と今後の課題について）  
社団法人 全社連 北海道社会保険病院 ME 部 多羽田 雅樹
- O-14 医療機器管理データベースネットワークにおけるセキュリティ構築  
北海道工業大学 大学院 応用電子工学専攻 相川 武司
- O-15 シリンジポンプ保守管理データの活用第 1 報 点検依頼と返却時点検の過去 5 年間に於ける状況  
JA 北海道厚生連 旭川厚生病院 臨床工学技術部門 丸山 雅和
- O-16 シリンジポンプ保守管理データの活用第 2 報 FMEA を利用した保守管理データの評価  
JA 北海道厚生連 旭川厚生病院 臨床工学技術部門 丸山 雅和
- O-17 輸液ポンプの転倒・落下事故に対する管理をどうするか  
旭川赤十字病院 救急部 臨床工学科 太田 真也
- O-18 医療機器中央管理における問題点 - 14 年経過した今考えるべき事 -  
旭川赤十字病院 救急部 臨床工学科 奥山 幸典
- O-19 安全管理における臨床工学技士の役割～ME 研修会を通して～  
札幌社会保険総合病院 ME 部 小川 輝之
- O-20 多周波数生体インピーダンス (MFBIA) 法による透析患者の体液量測定  
JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 臨床工学技術部門 阿部 光成
- O-21 透析供給ライン内の細菌培養法と ET 濃度との相関性についての検討  
NTT 東日本札幌病院 臨床工学室 佐々木 雅敏
- O-22 当院における透析液清浄化の取り組み  
砂川市立病院 臨床工学科 足達 勇
- O-23 予約オーダー対応透析システムの構築  
医療法人 仁友会 北彩都病院 臨床工学科 堀合 篤史
- O-24 e-Learning システムにおける臨床工学技士国家試験問題の出題方法  
北海道工業大学 大学院 応用電子工学専攻 竹村 務
- O-25 強酸性電解水処理による内視鏡鏡筒表面劣化変性について - 第 2 報 -  
北海道工業大学 大学院 応用電子工学専攻 渡邊 亜美

- O-26 二酸化チタンによる光触媒殺菌のメカニズム解析に関する研究  
北海道工業大学 大学院 応用電子工学専攻 鎌田 真千子
- O-27 MEDIXJAPAN 社製自動点滴装置 FLOWSIGN FS-01 の流量評価  
市立札幌病院 臨床工学科 金野 敦
- O-28 自動点滴装置（以下フローサイン）の使用経験  
NTT 東日本札幌病院 臨床工学室 杉本 親紀
- O-29 輸液ポンプの流量誤差に関する検討 - 薬液の粘性と延長チューブの影響 -  
北海道工業大学 工学部 福祉生体工学科 西森 雄太
- O-30 低流量時における血液ポンプ精度の検討  
JA 北海道厚生連 遠軽厚生病院 臨床工学技術部門 岡田 功
- O-31 シリンジポンプ、輸液ポンプのバッテリー交換の判断基準について  
旭川医科大学 医学部 付属病院 手術部 山崎 大輔
- O-32 電圧変動等に関する電源品質調査  
北海道工業大学 工学部 福祉生体工学科 畑林 克彰
- O-33 経皮酸素分圧測定～評価へ与える誤差要因について～  
JA 北海道厚生連 札幌厚生病院 臨床工学技術部門 橋本 佳苗
- O-34 クリオグロブリン血症患者に対して ECUM とクライオフィルトレーションを同時併用した経験  
JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 臨床工学技術部門 三上 和香
- O-35 当院における白血球除去療法の現状  
特定医療法人 北榆会 札幌北榆病院 臨床工学技術部 富岡 佑介
- O-36 血液成分採取装置の比較検討  
特定医療法人 北榆会 札幌北榆病院 臨床工学技術科 鶴谷 敬之
- O-37 病棟における血液浄化療法の現状  
手稲溪仁会病院 臨床工学部 石田 絢也
- O-38 生体肝移植における血液浄化療法の現状  
北海道大学病院 ME 機器管理センター 太田 稔
- O-39 腹膜炎のための血液透析を行なった腹膜透析患児の一例  
北海道大学病院 ME 機器管理センター 遠田 麻美
- O-40 透析中における局所脳酸素飽和度モニタの使用経験  
旭川医科大学 医学部 付属病院 手術部 本吉 宣也
- O-41 Fisher&Paykel 社製加温加湿器の性能評価～加温加湿器 MR シリーズの比較検討～  
JA 北海道厚生連 倶知安厚生病院 臨床工学技術部門 竹内 勝訓
- O-42 閉鎖式保育器内での人工呼吸管理における加温加湿についての検討  
旭川医科大学付属病院 臨床工学室 宗万 孝次
- O-43 新生児用人工呼吸器における高頻度換気（HFV）時の加温加湿状態と MR850 での性能について  
旭川医科大学付属病院 臨床工学室 宗万 孝次
- O-44 PTS-2000 を利用した在宅人工呼吸器への応用  
JA 北海道厚生連 札幌厚生病院 臨床工学技術部門 室橋 高男
- O-45 体動検出型睡眠時呼吸モニタの開発  
札幌医療科学専門学校 臨床工学技士科 横山 徹
- O-46 航空機による患者搬送を経験して  
JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 臨床工学技術部門 大京寺 均
- O-47 眼科業務における臨床工学技士の役割  
手稲溪仁会病院 臨床工学部 今野 裕嗣

## 機器展示（あいうえお順）

- |              |              |               |
|--------------|--------------|---------------|
| ・旭化成メディカル（株） | ・川澄化学工業（株）   | ・ガンプロ（株）      |
| ・キリンピール（株）   | ・クラレメディカル（株） | ・テルモ（株）       |
| ・東レメディカル（株）  | ・扶桑薬品工業（株）   | ・バイエルメディカル（株） |
| ・（株）ムトウテクノス  | ドリンクコーナー協賛   | 味の素ファルマ（株）    |

## 2005年度北海道臨床工学技士会学術大会にて発表された方へ

発表ご苦労様でした。発表内容は「北海道臨床工学技士会誌」へ掲載いたします。まだ原稿を提出されていない方は下記の「投稿・執筆規定」に基づいて、発表原稿を11月4日(金)必着で提出して下さい。提出が遅くなると会誌発行が遅くなります。ご協力をお願いいたします。

提出先 〒070-0029 旭川市金星町1丁目1番65号  
市立旭川病院 臨床器材課 臨床工学室 窪田 将司 宛  
E-mailの場合は s\_kubota@city.asahikawa.hokkaido.jp まで

### 「(社)北海道臨床工学技士会」 投稿・執筆規定

1. 北海道臨床工学技士会会誌では、研究論文、研究速報、症例報告など、出来るだけ他誌に未発表の原稿を掲載します。
2. 投稿は北海道臨床工学技士会会員とします。
3. 原稿提出の基本
  - 1) 原稿の大きさはA4判(縦使用)横組み、パソコンにて、1行40字×40行(1600字)にしてください。
  - 2) 図表はA4用紙に図表だけをプリントアウトした物を提出してください。
  - 3) 原稿枚数は規定しませんが、図表の合計は10点以内を目安にしてください。
  - 4) 図表を含めた提出原稿は、原本の他にコピーを添付してください。
  - 5) 作成した原稿は、プリントアウトしたもの1部と3.5inchのフロッピー(Windowsのフォーマットでワード文かテキストファイルで保存)を添付してください。なお、提出して頂いたメディアは返却致しません。
4. 投稿原稿の採否は、編集会議で討議し決定します。また、編集規定に従い、原稿の加筆、訂正、削除などをお願いする場合があります。
5. 原稿執筆の順序
  - 1) 見だし番号は以下の様にしてください。
    1. \_\_\_\_\_見だし
      - 1). \_\_\_\_\_小見だし
        - (1)
    - 2) 研究論文、研究速報および症例報告の記載は以下の様にしてください。
      1. 緒言 (はじめに、まえがき)
      2. 研究方法 (対象、症例、方法)
      3. 研究結果 (結果)
      4. 考察
      5. 結論 (結語、まとめ、おわりに)
  6. 参考文献の記載方法  
本文中の参考文献番号は右肩付文字で下記要領で記載してください。なお、共著の場合は、その氏名を3人とし、3名以外の扱いは、「3人目の氏名、ほか:」と記載してください。
    - 1) 参考文献の書き方
      - (1) 雑誌の場合  
・ 著者名,共著者名,共著者名,ほか : 論文題名, 雑誌名巻(号); 初頁-終頁, 発行年.
      - (2) 単行本の場合  
・ 著者名 : 書名. 版, 出版地. 出版社. 発行年. 初頁-終頁
  7. 図表の規定(写真は図として扱う)
    - 1) 図表に使用する文字は明朝体を使用して下さい。
    - 2) 提出する図表は、白黒で光沢鮮明な手札以上の写真、または同等以上の解像度を有したものにしてください。
    - 3) 表題は、図は図の下に、表は表の上に記載してください。

## 第33回(札幌)安全セミナー「手術用メス」開催のご案内

日本医用機器工業会主催の安全セミナーが開催されます。今回は最も安全性を必要とする機器の一つである手術用メスをテーマに、実際的な使用上の基礎知識とワークショップを中心とした内容となっております。手術用メスに対する十分な知識を持って正しい使い方をマスターしていただくために、より多くの皆様のご参加をお待ちしております。なお申し込み用紙は(社)北海道臨床工学技士会ホームページよりダウンロード可能です。

**開催日** 平成17年12月17日(土) 10時00分～16時00分 (受付開始 午前9時30分)

**会場** 北海道厚生年金会館 瑞雪の間

札幌市中央区北1条西12丁目

TEL. 011-231-9551

FAX. 011-261-1704

**参加費** ¥5,000 (講演テキスト及び弁当飲物代等を含む)

当日受付にて現金で申し受けます。なお引換えに領収書を発行いたします。

### 参加申込書送付先

北海道医科器械組合((株)竹山 内)

「手術用メス安全セミナー係 担当:竹山 泰記」

〒060-0906 札幌市東区北6条東2-2-15

TEL. 011-711-0188

FAX. 011-750-2076

(問い合わせ先)

日本医用機器工業会事務局 「手術用メス安全セミナー係 担当:門田」

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目39-15 医科器械会館5F

TEL. 03-3816-5575

FAX. 03-3816-5576

**締切日** 平成17年12月9日(金)

定員(200名)に達し次第締め切らせていただきます。参加される方のお申し込みは所定の申込書にて、FAXでお願いいたします。

### プログラム (総合司会:日本医用機器工業会安全セミナー 委員長 藤田 雅稔)

時間	テーマ	講師
9:30～10:00	参加者受付	
10:00～10:05	開催挨拶	日本医用機器工業界 理事長 根本 達
10:05～10:15	挨拶	北海道大学病院 手術部 助教授 佐藤 直樹 先生
10:15～11:00	「手術を受ける患者さんの安全管理」	北海道大学病院 手術部 看護師長 大沢 修子 先生
11:00～12:15	「電気メスで事故を起こさないために」 - 正しく安全な使い方 -	神奈川県立保健福祉大学 教授 小野 哲章 先生
12:15～13:00	昼食	
13:00～13:30	機器展示見学会	
13:30～14:15	「褥瘡か熱傷か?で お困りではありませんか」	日本医用機器工業会 青木 紀二(株)セムコ)
14:15～14:30	コーヒープレイク	
14:30～15:55	パネルディスカッション 「過去の事故例に学ぶ」	日本医用機器工業会
15:55～16:00	閉会挨拶	日本医用機器工業会 専務理事 水越 浩二

## RM ニュース

### < 医療事故の4割は注意不足

#### 9カ月間に死亡108件>

昨年10月から今年6月までの9カ月間に起きた790件の医療事故のうち、4割を超える340件は確認や観察を怠ったためだったことが、医療機関の質を評価する財団法人「日本医療機能評価機構」(東京)の集計で分かった。

医師が関与した事故の4割が、新たな部署に配属されて3年未満だったことも判明。同機構は「少しの注意や努力で防げた事故が多い。仕組みが異なる新たな部署では連携ミスが原因になっていることがうかがえる」としている。

集計の対象は、報告を義務付けられた国や自治体の医療機関、大学病院の計275施設。軽微なものも含め790件の事故が報告された。

このうち「死亡」は108件。「障害が残る可能性が高い」が113件、「低い障害が残る可能性がある」は389件に上った。

事故の要因別(複数回答)では、「確認を怠った」が184件で最も多く、次いで「判断を誤った」158件、「観察を怠った」156件の順。「技術が未熟だった」74件、「知識が不足していた」55件が続いた。

病院を移ったり、新たな部署に異動したりしてからの年数と事故の関係を調べると、医師が関与した628件の事故のうち、最も多かったのは「1年未満」の124件で、「3年未満」までを合わせると256件で4割に達した。

(7月29日:共同通信社)

### < 携帯電話は22センチ離して

#### 影響防ぐ指針発表>

総務省は8月11日、携帯電話や非接触型集積回路(IC)カードの電波が、心臓ペースメーカーなど埋め込み式の医療機器に与える影響を防ぐための指針を発表した。

携帯電話やPHSは心臓ペースメーカーの装着部位から22センチ以上、非接触型ICカードは12センチ以上離すことを明記した。携帯電話を首に掛けた

り、胸のポケットに入れ持ち運ぶことは避けるべきだとしている。

総務省は電波の影響を調べた結果としてこうした基準を発表してきており、22センチといった数字は携帯電話の説明書などにも書かれている。

指針には、埋め込み式医療機器の装着者が、書店などが万引を防ぐために設置しているゲートを通る際は「立ち止まらずゲートの中央をまっすぐ通過すること」との注意も盛り込んだ。

(8月12日:共同通信社)

### < 輸液ポンプから空気流入

#### 患者その後死亡>

仙台市内の病院が、7月下旬、東北地方の50代の女性患者に生体肝移植手術中、急速輸液ポンプから静脈内に空気が流入し一時心機能を低下させる医療ミスがあったと発表した。

患者は多臓器不全で死亡したが、病院長は会見で「空気が混入した事実は確かだが、死亡との因果関係は不明」と説明。事故調査委員会を設置、原因を究明するとしている。

ポンプには空気が入ると警報が鳴って自動停止する機能が付いているが、これを切っていた。仙台北署は業務上過失致死の疑いもあるとみて調べる方針。

病院によると、患者は重度の肝不全で手術。急速輸液ポンプをつないで静脈に血漿(けっしょう)を送り込んでいたが、容器が空になったことに担当の外科医が気付かず、最大約3分間、150ccの空気が流入した。患者の血圧が突然低下し、ポンプを切った。

警報装置を切ったことについては「警報の感度がよく、すぐに自動停止する。大量出血した患者への輸液が止まるのを避けるためやむを得なかった」としている。

空気の流入で脳への障害が心配されたが、術後のコンピューター断層撮影(CT)検査では脳の異常は見つからなかったという。

(9月19日:共同通信社)

## 会費納入についてのお願い

今年度の会費を受け付けております。前年度未納の方は、大至急納入していただくようお願いいたします。また、今年度分の会費も早急に納入していただくようご協力をお願いいたします。

振り込みの際には、用紙の通信欄に“何年度分の年会費”と記載をお願いいたします。

正会員 5,000円  
賛助会員/賛助団体 10,000円

口座番号 郵便局 02760-8-4815  
加入者名 北海道臨床工学技士会

問い合わせ先

(社)北海道臨床工学技士会 財務担当理事

〒064-0809 札幌市中央区南9条西10丁目

医療法人札幌中央病院 臨床工学科 山本浩幸

TEL 011-513-0111

## 会誌表紙デザイン募集

次回発行予定の(社)北海道臨床工学技士会の会誌 16号の表紙デザインを会員の皆様から募集したいと思います。採用者にはQUOカード¥5,000分を差し上げます。皆様のご応募お待ちしております。

### 【応募要項】

- ・用紙サイズはA4、縦型としてください。
- ・施設名、氏名、Eメール(省略可)を明記し、デザイン画をプリントアウトしたものを下記まで送付してください
- ・応募及び問い合わせ先

〒070-0061 旭川市曙1条1丁目

旭川赤十字病院 臨床工学課 奥山 幸典 宛

TEL. 0166-22-8111 (内線 3220)

- ・応募締め切り 平成17年12月31日
- ・編集委員及び事務局にて選考を行い、採用者には後日連絡いたします。なおデザインに関しては若干の変更、修正を求める場合がございますのでご了承ください。

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	仁友会 北彩都病院	臨床工学科	石川幸広
編集委員	旭川医科大学附属病院	臨床工学室	宗万孝次
	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	市立旭川病院	臨床工学室	窪田将司

印刷

岡本印刷株式会社

札幌市北区新川西2条1丁目

3番21号

011-766-2551